

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況（振り返り）」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	日頃からプライバシーを損ねない言葉掛けや対応を心掛けているが、介助が重なった場合は出来ない事もある。又、声掛けに対し不機嫌になる入居者もいるため常に配慮出来てはいえない。	どんな状況においても職員は冷静に対応し、誇りやプライバシーを損ねない言葉掛けや対応を行う事が出来る。	・ミーティング時に話し方の指針について職員間で話し合い、自分たちの話し方や伝え方の反省を行い指針の実践を目指している。 ・職員同士が日頃から互いの言葉遣いに気を付け注意し合い、介助が重なった場合は互いに協力し合いゆとりを持って支援出来るようにする。	12ヶ月
2	38	その人らしい暮らしを送れるよう一人ひとりのペースに合わせた生活を心掛けているが、規律ある生活を送って頂く為個人のペースを職員側で考慮する場合がある。又、集団生活の中では全員での外出など周りに合わせる為個人のペースを崩してしまう事がある。	規律ある生活を送りながらも、個人のペースを尊重し生活が出来るよう支援する。	・活動時等本人のやりたい事に耳を傾け、優先して行って頂く。 ・入居者一人ひとりの普段の1日のペース・体力・精神状態を職員全員で把握し、変化があった際は話し合いその人その人に合った生活を支援する。	6ヶ月
3	21	入居者同士が日々仲良く支え合い良い関係が築けるよう支援しているが、トラブルになったり孤立してしまう場面もある。	入居者同士の良好な関係が築け、孤立しないで生活が送れる。	・入居者同士の人間関係や性格・嗜好を考え、座る場所の工夫やお茶時等の話題の提供を行い、トラブルの回避・孤立しない環境作りに努める。トラブルになった際は職員が間に入り、双方の主張を伺いフォローを行う。	3ヶ月
4	37	入居者が自分の意思でやりたい事が決定できるよう、複数の選択肢を用い決めて頂いたり、普段の生活の中から思いを汲み取るよう努めているが、反応が見られない方もいる為難しい場合がある。	自己決定できる機会を多く設け、自分の意思でやりたい事ができる。	・御家族や知人から服の色や食べ物・趣味など昔好きだったものを聞き、それらを提供した時の表情や反応を見て思いを汲み取るよう心掛ける。 ・些細な行動や会話の中で、職員が問いかけ・選択して頂く場を多く設ける事で入居者の事を知り、決定の手助けが出来る様支援していく。	3ヶ月
5	24	入居時や家族・知人の面会時に入居者の情報を聞き取っているがまだ情報が少ないため、入居者の対応を考える上で更なる情報が必要である。	多くの情報を集め、入居者の生活歴を知りよりよい支援に繋げる事が出来る。	・どのような情報があれば、現在の入居者の状況に対してより良いサービスが出来るかを話し合い、家族・知人の面会時に情報の聞き取りを行う。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。